

教科書の特徴

教科書名：BIG DIPPER English Communication I (104 数研 C I 716)

I 内容

日常的な話題・社会的な話題を英語の言語活動を通じて学習することで、的確に情報や考えを理解したり表現したりするコミュニケーション能力を育成できる内容・構成となっている。

1. 題材は学習者に親しみやすく、かつ多面的・多角的な考察ができる内容豊かなものである。
2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して、基本事項の定着を重視し、段階的に学習することができる。
3. 題材を学習するにあたっては、聞く・読む・話す[やり取り／発表]・書く の5つの領域の統合的な言語活動が設けられている。
4. 読んだり聞いたりした内容をもとに、自身の意見をまとめたりクラスメートの意見を聞いたりする活動を通して、学習者が自身の考えを深めつつ、積極的に授業に参加することができるようになっている。

II 全体の構成

1. 前見返し

・Classroom English：英語での授業で使われる表現を掲載。授業に役立てられるように配慮している。

2. 巻頭

・Introduction 1, 2：英語学習の基礎となる「辞書の使用法」「発音・アクセント」の基本が巻頭にまとめられている。

3. 本課

・見開き構成で本文と活動がまとめられており、運用計画が立てやすいように配慮されている。

A. 導入ページ

- ・Your Goal：聞く・読む・話す・書く の観点での、その課の学習目標が示されている。
- ・Warm Up 1：音声を聞いて、内容に合致する写真などを選ぶ問題。
- ・Warm Up 2：ペアになって会話をする活動。活動の負担を考慮し、ヒントが豊富に示されている。

B. 本文ページ

- ・本文：写真・イラスト・図表などで、適宜、本文内容を補足するよう工夫されている。
- ・二次元コード：本文・新出語の聞き取り、音読・発音練習や、本文読解速度の確認ができる。
- ・脚注：本文理解の助けになる、代名詞や言い換えについて確認できる。また、辞書の引き方や発音・アクセントの確認もできる。
- ・Hints for Understanding：ターゲットとなる文法事項の簡単な説明。図解が多用され、文法事項の

イメージを得やすくなるように配慮されている。

- ・ **Comprehension** : 本文理解を確実にするための内容把握問題。基本的構成としては、設問(A)の T/F 問題で本文の概略を押さえ、本文内容・形式に合った多様な形式の設問(B)で理解確認ができる。
- ・ **Give Your Opinion** : 本文内容に関連した話題で自己表現ができる活動。活動の負担を配慮し、対話の型などが示され、ヒントも多く提示されている。

C. 課末ページ

- ・ **Main Information** : 各パートの内容を再確認する活動。簡潔かつ視覚的な体裁で、学んだ内容をまとめることができるように工夫されている。
- ・ **Try It Out** : 聞き取った内容を元にペアワークを行い、意見をまとめて発表する活動。段階を追って無理なく学習できるように工夫されている。

4. Grammar for Expression 1～5

- ・ 本課 2 レッスンごとに設けられた文法事項のまとめ。演習問題は、表やイラストの内容を英語にしたり、自分の意見を書いたりするもので、主体的な学習ができるように工夫されている。

5. Power Up Section

- ・ 本課 10 レッソンの読み足し英文。本課トピックをさらに読み深める内容。 **Comprehension** と **Give Your Opinion** によって、内容理解の確認と意見発表もできる構成になっている。

6. 巻末

- ・ **Can-Do List** : 各課の **Your Goal** と文法の一覧。授業計画を立てる際に参照しやすい。
- ・ **Useful Idioms** : 本課脚注で扱った成句のまとめ。アルファベット順に並べ替えられており、参照しやすい。
- ・ **Word List** : 中学既習とみなされる語は太字に、新出語は初出のページを示している。

7. 後ろ見返し

- ・ 数の表し方 : 序数の表し方や、数字の読み方が紹介されている。本文読解の助けとなるよう、本文に出てきた数字が例として使われている。
- ・ **SDGs** (持続可能な開発目標) の解説 : 本課レッスントイトル横に掲載している目標アイコンについて、ここを併せて参照することで、知識を深めることができる。

Ⅲ 表記・表現及び使用上の便宜

- ・ 4 技能 5 領域の活動には、それぞれの活動を示すアイコンが添えられており、内容がわかりやすい。
- ・ 新出語は脚注でなく傍注に示してあるため、本文を追う目の動きに沿って確認することができる。
- ・ 脚注は指示語の確認(1 段目)、導入で学習した辞書・音声指導の実践+イディオム(2 段目)、固有名詞等の語句注(3 段目)に分かれている。イディオムには辞書で引くべき見出し語に*印が付いており、学習しやすい。
- ・ 判型・その他 : B5 判で紙面をゆったりととり、写真やイラストを効果的に提示している。